

議会だより

一般質問 P3 ~ 10



市役所組織再編



中央病院の経営改善



「行かない市役所」の実現



保育料無償化の進捗



大深内小中学校スクールバス



事故多発交差点への対策



レストランペリカン東側交差点の整備



森林分野におけるJ-クレジット



ガソリン暫定税率廃止の影響



学校女子トイレに生理用品の設置



断らない救急病院に向けた取組



国スポ・障スポ大会の機運醸成



ごみ発電事業への支援策



お弁当持参の児童生徒への補助



予算編成に向けた市長の覚悟

目次

議案審議の状況	P2
市議会・市民との意見交換会	...	P11
行政視察報告等	P12

奥入瀬渓流氷瀑ツアー
(冬の奥入瀬ナイトツアー)
子ノ口のライトアップ

議案審議の状況 12月定例会

令和7年第4回定例会は、11月27日から12月17日まで21日間の会期で開かれました。

十和田市債権管理条例の制定についてなど、議案35件、報告1件が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

物価高騰対策事業の予算を計上 可決

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰の影響を受けている市民・事業者等への支援事業を実施します。



◆十和田市民応援券発行事業

市内各店舗等で利用できる1人当たり7,000円分の商品券を配布します。

対象者：全世帯

◆中小企業者支援給付金事業

事業の継続を支援するため、中小企業者へ給付金を支給します。

対象者：事業収入額が月平均10万円以上の中小企業者

◆生活困窮者に対する灯油購入費助成事業

生活が困窮している世帯の負担軽減を図るため、1世帯当たり7,000円分の灯油購入費を支給します。

対象者：令和7年度住民税非課税世帯又は住民税均等割のみ課税されている世帯

◆デジタルポイント還元事業

PayPayを利用してキャッシュレス決済を行った場合に、支払金額の最大20%のポイント還元をします。

対象店舗：市内のPayPay加盟店 約900店舗（※大手コンビニエンスストア、公共サービス等を除く。）

◆畜産飼料価格高騰対策支援給付金事業

事業の継続を支援するため、畜産農家へ給付金を支給します。

対象者：市内に住所又は事業所を有し、畜産業を営む事業者で、市に家畜伝染病予防法に基づく飼育頭数の報告を行っている者

◆原料米価格高騰対策支援事業

事業の継続を支援するため、酒類、麹、味噌、醤油、米粉等の製造業者に対し、令和7年国産原料米の仕入価格高騰分の一部を補助します。

対象者：市内に住所又は事業所を有し、酒類、麹、味噌、醤油、米粉等を製造する事業者

賛否が分かれた議案の審議結果

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「退」は退出、「-」は議長（原則、表決に加わりません。）
「除」は除斥（審議案件と一定の利害関係を有するため、審議に参加することができない者）

議案番号	議案名	議員名 (議席順)	山端	小山	太田	竹島	笹山	今泉	中嶋	中原	小笠原	山端	氣賀	久慈	江藤	堰野端	工藤	小川	戸来	石橋	審議
			美樹子	剛士	正幸	直樹	峰尚	洋子	信明	一香	利子	量子	重子	年美	信和	貴貴	雄廣	正平	洋伝	義雄	結果
議案第68号	十和田市事務分掌条例等の一部を改正する条例の制定について		○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	



太田 正幸
(立憲農民クラブ)

市役所組織再編に係る経費は

概ね900万円を見込んでいる

問 令和8年度の市役所組織再編の概要は。

答 限られた人員の活用を第一として、組織の集約化、効率化を図るとともに、市民の分かりやすさ、利便性を重視し、名称やフロア配置の変更を検討しています。

問 一連の不祥事では、上司の管理不足が要因だったとの報告もあるが、適正な業務執行に向け、内部統制を管轄する部署を設置する考えは。

答 多種多様な業務を限られた人数で効率的に進めるためには、管理する側ではなく、実務担当の職員を確保し、負担の軽減とチェック体制を確立する必要があると考えています。

問 人件費や庁内表示、システム改修など組織再編による経費の見込みは。

答 概ね900万円を見込んでいます。

問 ハンターの確保に向け、十和田市有害鳥獣捕獲従事者育成支援事業の補助対象である50歳以下という年齢制限を撤廃すべきでは。

答 関係者と協議しながら検討します。

問 ハンターの報酬を引上げる考えは。

答 猟友会と協議し、令和7年度に改定を行ったほか、令和8年度も引上げを検討しています。

問 児童生徒の安全対策として熊よけベルなどを配布する考えは。

答 市内小中学校への配布について検討します。

問 青の煌めきあおもり国スポ・障スポ大会開催の成果を後世に遺し、まちづくりに結びつけていくためのレガシービジョンは。

答 ハード面・ソフト面それぞれの成果を、どういった形にすることで一過性のものにとどまらず、将来にわたり地域の活性化に結びつくのか検討していきます。



山端 美樹子
(自民公明クラブ)

事故多発交差点への注意喚起看板の設置を 高輝度看板の採用も含め対策を進める

問 のづき内科小児科クリニック前交差点の事故発生状況は。

答 令和7年は、11月末時点で人身事故が5件、物件事故が6件発生しており、最も多い事故原因は、一時不停止です。

問 事故防止対策の実施状況は。

答 令和7年度は、減速を促す路面標示の追加や優先道路との境界線を明確にするドットラインの新設などを行いました。

問 新たに注意喚起看板を設置する考えは。

答 夜間に車のライトに反応する高輝度看板の採用も含めて、より効果的な対策を進めます。

問 市民図書館における障がいのある方や高齢者へのサービス充実の取組は。

答 大活字本やLLブックの充実、拡大読書器の設置、対面朗読や宅配による貸出サービス等を実施しています。令和7年12月の休館日には、障がいなどを理由にこれまで図書館を利用したことがない児童生徒と保護者を対象に、見学・体験イベントを初めて開催する予定です。

問 直射日光による本の色あせ対策は。

答 紫外線の軽減効果のある窓ガラスを使用しているほか、状況に応じてロールカーテンを活用するなど色あせの軽減を図っています。

問 医療的ケア児への支援状況は。

答 市内には9名の医療的ケア児があり、希望のあった全てのご家族に対しコーディネーターを配置し、相談体制の充実に努めています。

令和7年度は、医療的ケア児と家族同士が交流を深めるとともに市民の理解促進を図る交流会の開催や、上十三圏域におけるよりよい支援体制の構築に向けた検討を進めています。



中嶋秀一
(自民公明クラブ)

断らない救急病院に向けた取組は

紹介状がなくても できる限り受け入れるよう調整

問 新患・急患を断らないための取組は。

答 非紹介患者初診料7,700円を負担いただける場合は、紹介状がなくてもできる限り中央病院で受け入れるよう調整しています。

問 医療費の未収金の回収に向けた対策は。

答 通知・督促・催告の流れで納入を促し、それでも納入がない場合は、弁護士に徴収を委託し、未収金の回収に努めています。

問 中央病院の誇れる特色は。

答 1つ目は県内でも2台しか運用されていない最新鋭のがん放射線治療装置を所有しており、治療時の身体への負担が少なく、働きながらでも高精度の放射線治療が受けられる点、2つ目は地域医療連携推進法人「上十三まるごとネット」を設立し、近隣の病院間連携を推進している点、3つ目は自治体病院では非常にまれな訪問診療を行う「とわだ診療所」を併設し、地域医療を支える体制を構築している点です。

問 外国人居住者へ生活ルールやマナー等をどのように周知しているか。

答 転入時に、多言語対応のごみの出し方や防災情報等のパンフレットを配布しているほか、窓口での転入手続の際には、同行している就労先の担当者等を通じた周知に努めています。

問 中心商店街の活性化に向け、誘客が期待できる「チームラボ」のような体験型アトラクションを誘致する考えは。

答 現在、商店街の将来像を具現化するエリアビジョンの作成に向け、商店街連合会や市民等の関係者と検討を重ねており、体験型アトラクションの活用についても共有を図りながら、魅力あふれる中心市街地づくりに取り組みます。



垣野端展雄
(黎明親和会)

中央病院の経営改善に向けた 取組状況は

3つの経営強化チームを 立ち上げ取組を進めている

問 令和7年度の中央病院の経営状況は。

答 収入は令和6年度と比較して、消化器内科常勤医の配置により約2億8,000万円、他の診療科における約3億7,000万円を合わせて、約6億5,000万円の増収を見込んでいます。

支出については、人件費や材料費など各種経費の増加が予想され、現時点での収支は、約6億9,000万円の赤字が見込まれています。

問 経営改善に向けた令和7年度の取組状況は。

答 院長が主導し、副院長をリーダーとする3つの経営強化チームを11月に立ち上げ、改善に向け取り組んでいます。具体的には、効率的な病床利用により入退院管理などを行うベッドコントロールチーム、地域の医療機関との連携を強化し患者獲得を担う地域連携強化チーム、救急患者の受入れを強化し患者の獲得を図る救急強化チームを中心に取組を進め、令和7年11月の実績として、1日当たりの一般入院平均患者数が235人と、前月より25人増加しています。

問 今後の取組は。

答 経営強化チームによる取組のほか、消化器内科の内視鏡検査枠や心臓ドックの検討など、新たな収入源の獲得に努めます。

問 学校内のトラブルなど、万が一に備え客観的な証拠を残し、早期対応ができる体制の構築に向け、校内へ防犯カメラを設置する考えは。

答 教職員等の盗撮や、いじめに対する抑止力及び校内の器物破損などに対し、一定の効果がある一方で、プライバシーが守られず子どもや教職員に心理的ストレスを与えたり、自然な対話や人間関係が阻害されるおそれがあることから、設置については慎重に判断する必要があると考えています。



小山田 剛士
(黎明親和会)

レストランペリカン東側交差点の整備促進を

庁内の検討体制を構築する

問 レストランペリカン東側の交差点（下平東小稻線）の整備について、市の考えは。

答 7つの路線が交差し、高度な交通処理が求められるため整備が困難な状況となっていますが、稻生橋からレストランペリカンまでの市道下平2号線の整備検討と併せ、整備の基本構想策定に向け、関係機関と協議を進めていきます。

問 当該交差点の整備は、市民の関心も高いことから、課題解消に向けて動き出すための仕組みづくりを行う考えは。

答 これまで整備検討は土木課単体で行ってきましたが、専門的見地に加え、幅広い観点からの検討が必要なため、今後は庁内における体制を構築し、整備に向けた検討を進めていきたいと考えています。

問 将来的に歯科医師数が大きく減少し、歯科医療提供体制の維持が困難となることが危惧されるが、歯科医師数の推移は。

答 令和4年厚生労働省統計によると、青森県は人口10万人当たりの歯科医師数は55.9人と全国最少で、全国平均81.6人を大きく下回っています。上十三歯科医師会によると、当市の歯科医師数は10年前の27人をピークに減少し、令和7年11月末現在で、歯科医院17施設、歯科医師19人、人口10万人当たり33.3人となっています。

問 歯科医師数の減少について、市の認識や対策等の検討状況は。

答 明確な歯科医師必要数の指標はありませんが、今後、人口減少や高齢化、後継者不足が深刻化する可能性が高いことから、喫緊の課題と受け止め、地域医療ニーズの把握と分析を行い、上十三歯科医師会などの関係機関と連携して検討していきます。



笹 浩 峰 尚
(黎明親和会)

国スポ・障スポ大会 一体的に盛り上げるための取組は 幅広い主体が参加できる 取組を進める

問 青の煌めきあおもり国スポ・障スポのリハーサル大会で、高森山総合運動公園サッカー場天然芝の整備が課題となつたが、改善策は。

答 補正予算として約6,380万円を計上し、現在の西洋芝から姫高麗芝への張り替えを行います。作業は令和8年5月頃から開始し、本大会までに整備を完了させる予定です。

問 市民や関係者が一体となって大会を盛り上げるための取組は。

答 おもてなしの取組として、競技会場にプランター等を設置する「花いっぱい運動」の実施など、幅広い主体が参加できる取組を進めます。

問 中心市街地のおもてなしの取組は。

答 アーケード柱へのラッピング装飾や横断幕の設置など、人通りの多い場所に装飾を施し、歓迎する雰囲気を効果的に醸成します。

問 昨今の資材費の高騰などを踏まえ、秋まつりの山車制作費補助金を改善する考えは。

答 財政上大幅な増額は難しい状況であり、自主財源を含めた収入の確保や、運行ルートや日程の縮減による支出の抑制など、まつり全体の在り方の見直しが必要と考えています。

問 3日間のまつり日程を1日縮減し2日間にすることによって削減できる経費を、山車制作費補助に充てた場合の補助限度額は。

答 経費が単純に3分の2になると仮定すると、1団体あたり約10万円の上限額の引き上げが可能です。

問 山車運行の担い手が不足している現状について、市の認識と対応策は。

答 参加町内会の減少につながる深刻な課題と認識しており、参加団体等と活発な意見交換を通じて、その対策について検討していきます。



氣田量子
(自民公明クラブ)

「行かない市役所」の実現を

環境整備に取り組む

問 各種証明書のオンライン申請手続について、市LINE公式アカウントのホーム画面から直接申請できるように改善する予定は。

答 令和8年度の実施に向け検討を進めます。

問 移動負担の大きい子育て世帯が時間や場所にとらわれず、LINEで一連の手続を完結できる「行かない市役所」実現に向けた考えは。

答 令和7年度中に策定予定の窓口業務DXの方向性や改善策をまとめたロードマップに基づいて、今後、環境の整備を進め、さらなる利便性の向上を目指します。

問 ウェルビーイング（幸福度）を数値化し、まちづくりの指針として捉える考えは。

答 現在策定中の第3次十和田市総合計画の策定方針では、市民一人一人の幸せの実感を幸福度指標として把握し、施策の立案に反映することとしています。

問 庁舎障がい者駐車場に屋根を架ける考えは。

答 多額の費用が見込まれ、現在の財政状況から設置は難しいと考えていますが、必要性は認識していますので、まずは関係団体から意見を伺いたいと考えています。

問 成年後見制度の利用者増加が見込まれる中、市民後見人への活動支援は。

答 上十三圏域での養成講座やフォローアップ研修を実施しているほか、令和8年2月には、新たに意見交換会の開催を予定しています。

問 通知書等の送付先を後見人等に変更する際の手続を一括化し、負担を軽減する考えは。

答 窓口業務のDXの取組や、令和8年度の市組織再編による「くらし窓口部」の設置を見据えて支援体制を検討していきます。



斎藤重美
(自民公明クラブ)

森林分野における J-クレジットの創出支援を

独自の支援は考えていない

問 森林分野におけるJ-クレジット制度（※）には、どのようなメニューがあるか。

※省エネルギー設備の導入や適切な森林管理等による温室効果ガスの排出削減量等を国がクレジットとして認証する制度。クレジットの創出者は販売収益を新たな設備投資などに充てることができ、クレジットの購入者は大きな投資を伴わず、削減量を自らの実績にすることが可能となる。

答 ①間伐等の適切な施業により、森林の成長や木材利用等を通じ二酸化炭素の吸収を図る森林経営活動、②森林以外の土地で新たな植林により、二酸化炭素の吸収を図る植林活動、③本来森林であるべき土地のうち樹木が育成していない場所での再造林により、二酸化炭素の吸収を図る再造林活動となります。

問 山林伐採後の植林などに关心を寄せるためにも、森林分野におけるJ-クレジットの創出について、市で支援ができないか。

答 認証に係る手続が煩雑かつ専門的である上に、高額な費用負担が課題となっていますが、国により書類作成や審査費用に対する支援が行われていることから、現段階では独自の支援は考えていません。

問 主食用米「はれわたり」の種子が手に入りにくい状況となっている要因は。

答 県によると、一般的に水稻の種子は、2年前に全国農業協同組合連合会などから提出された栽培希望数量に基づき、公益社団法人農産物改良協会によって生産が行われています。はれわたりは特A評価を得ている品種であることに加え、昨今の米の概算金の高騰によって作付面積が増え、種子を希望する農家が想定以上に増加したため、2年前に計画した数量と現在の農家が希望する数量との間に乖離が生じていることが要因です。



今 泉 信 明
(立憲農民クラブ)



中 尾 利 香
(自民公明クラブ)

ごみ発電事業への支援策は

独自の支援制度は考えていない

問 市民からの期待が大きい「ごみ発電事業」への支援策は。

答 現在、家庭や中央病院などから排出される生ごみを分別回収し、市内にある民間のバイオガス発電施設で処理することでごみの減量化と脱炭素化を推進しています。当該施設は、現在のところ処理能力に余力がある旨を伺っていることから、現時点では新たなごみ発電事業に対する独自の支援制度は考えておりません。今後も国・県の補助制度に関する情報収集や発信等を行い、再生可能エネルギーの普及拡大、脱炭素社会の実現に向け、市民・事業者・行政が一体となり、持続可能な取組を推進していきます。

問 策定中の第3次十和田市総合計画に「ごみ発電事業」を反映させる考えは。

答 二酸化炭素をほとんど排出しないごみ発電事業などの再生可能エネルギーの普及と利活用は、地球温暖化対策や脱炭素社会の実現に向けて重要であり、計画への反映を検討します。

問 市長交際費の支出基準はどうなっているか。

答 市長交際費は、市長等が行政執行上、または市の利益のために市を代表して外部の方と交際、交渉等をする際に要する経費であり、十和田市食糧費・交際費の対応と、十和田市弔慰等の対応に関する基準に基づき支出しています。現在、支出基準の公表はしていませんが、今後、他自治体の取扱い等を参考に検討します。

問 元職員への弔慰金について、市外の職員も多くなっているが、居住地による違いはあるか。

答 十和田市弔慰等の対応に関する基準の対象となる元職員とは、会計年度任用職員等を除く全ての元職員を指しており、住んでいる場所の違いによる判断はしていません。

3歳未満児保育料無償化の進捗は

令和8年度の無償化に向け準備

問 市長が公約に掲げた3歳未満児の保育料無償化の実現について、財源の確保が課題となっているが、検討は進んでいるか。

答 厳しい財政状況ですが、未来を担う子供たちの笑顔のために、できるだけ早期に実現したいと考えており、国の交付金を活用し、令和8年度からの無償化に向けて準備を進めています。

問 町内会が負担している街路灯の電気料を市で全て負担する考えは。

答 町内会の財政負担や加入者・未加入者間に不公平感があると認識しており、今後、電気料の全額負担について検討していきます。

問 市民の負担を増やさずに公共施設を維持していくため、金銭などの支払いを受け公共施設の命名権を付与する「ネーミングライツ制度」を導入する考えは。

答 自主財源確保に有効な手段ですが、契約期間が満了するたびに名称が変わることの可能性があり、施設イメージの定着への影響や看板の付け替え作業等の発生が考えられます。影響に見合った価格の設定など、他市の具体的な導入事例も含めて調査・研究を進めます。

問 奥入瀬ろまんパークの大型トイレは暑さや匂い、冬の寒さなど快適とは言えない状況が続いていると感じているが、建て替えや全面改修を行う考えは。

答 利用者の安全・安心の確保と施設の長寿命化を念頭に、施設ごとの修繕計画を作成し、優先順位を明確にした上で、修繕や改良等を行っており、当該大型トイレについても、この考えのもと適切な維持管理に努めています。



久慈年和
(立憲農民クラブ)

ガソリンの暫定税率廃止の影響は

年間約1,200万円減収の見込み

問 地方揮発油譲与税とはどのような税か。

答 国が徴収したガソリンに係る地方揮発油税について、地方自治体が管理する道路の延長や面積で案分し、その割合に応じて、国から地方自治体へ譲与されるものです。

問 ガソリンの暫定税率が令和7年12月をもって廃止となるが、今後の財政への影響は。

答 当市では、自動車を日常的に使用する市民が多く、暫定税率の廃止によるガソリン価格の引下げは、市民にとって家計負担の軽減となります。また、物流業や公共交通事業等に携わる事業者にとっても、物価高騰対策として大変有効な施策であり、大きな恩恵をもたらすものと認識しています。

しかし、ガソリンに係る地方揮発油税による税収は、財政基盤の脆弱な地方自治体にとっては貴重な財源であり、その廃止による影響は決して軽視できるものではありません。市では、国から交付される地方揮発油譲与税に影響があり、令和6年度決算に基づき試算すると、歳入が約7,700万円から約6,500万円となり、年間で約1,200万円の減収となる見込みです。

こうした減収の影響については、全国市長会を通じて、代わりとなる安定的な財源を確保することを強く国に要望しており、国の責任で適切な対応が講じられることを期待しています。

問 令和7年度の地方揮発油譲与税も減収になることが見込まれると思うが、減収額はいくらになるのか。

答 ガソリンの暫定税率が12月末で廃止されることにより、令和7年度の地方揮発油譲与税も減収が見込まれます。令和6年度決算額を基に機械的に計算すると、令和7年度は、約100万円の減収となります。



山田洋子
(柊の会)

お弁当持参の児童生徒へ 市独自の補助を

鋭意検討する

問 食物アレルギー等により学校給食を利用せず、弁当を持参する児童生徒について、県の「学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金」を活用し、保護者の負担軽減を図れないか。

答 県の交付金は、市が行う学校給食の無償化に充てられるもので、弁当を持参する場合は、使用した食材の購入費に充てることができます。しかし、弁当にのみ使用した1食ずつの食材の領収書の添付など申請手続が煩雑で、保護者の負担になるため実施していません。

問 市が独自に補助等をする考えは。

答 鋭意検討していきます。

問 旧十和田湖町地域を中心とした過疎地域について、過疎地域持続的発展計画の実施状況は。

答 令和3年度からの5か年で、各種インフラ整備や通学支援、公共交通確保、観光振興など、69事業中47事業を実施しました。

問 生活環境や産業振興、子育て、教育等における成果と課題をどのように認識しているか。

答 生活環境の改善や安全・安心の確保など一定の成果がありました。同地域では特に人口減少や高齢化が進行し続けており、様々な課題への対策が必要なため、次期計画においても継続して取り組んでいきます。

問 生活交通の確保に向け、西地区シャトルバスの路線延伸やダイヤ見直しを検討できないか。

答 利用者増加に向け、今後検討していきます。

問 高齢者などが災害時にスマートフォンで防災情報を収集する方法を学ぶ講習を継続して実施する考えは。

答 令和8年2月には「デジタル活用支援推進事業」を活用した防災対策のスマホ教室の開催を予定しており、今後も継続していきます。



竹島直樹
(柊の会)

大深内小中学校スクールバス 熊対策で自宅前までの送迎を 各家庭で送迎いただくよう 協力を仰ぐ

問 大深内小中学校のスクールバスについて、熊対策として自宅前までの送迎は出来ないか。

答 送迎には中型バスを使用していますが、道路が狭く、自宅前まで送迎するのは難しい状況となっており、各家庭において停留所または学校まで送迎をしていただくようご協力を仰ぐことになります。

問 医療・福祉分野は、令和6年度の報酬改定以降、報酬が上がっておらず、物価の上昇に追いついていないことから、物価高騰対策として、医療・福祉事業者への支援を実施する考えは。

答 支援の必要性は認識していますが、医療、福祉事業者に対しては、国の補正予算における支援パッケージとして、物価上昇や賃上げ等に対する支援が予定されています。また、県においても医療、福祉事業者を対象に、物価高騰対策支援金の支給が予定されていることから、市としては、原則的にそのような支援が行き届かない事業者への支援を考えています。

問 風力発電事業に伴う森林伐採により、熊の生息地が破壊・分断され、市街地での出没増加につながるのではと懸念されているが、生息地への影響についてどのように考えているか。

答 報道等では、令和7年は熊の生息地における食糧の不作等の理由から、行動範囲が拡大し、人の生活圏での出没頻度が増えているものと想定されています。風力発電と熊出没のはっきりとした因果関係を申し述べることはできませんが、風力発電事業に係る環境影響評価法等に基づく調査、予測評価等を行う事業者に対し、熊を含めた動植物に与える影響について配慮するよう意見を伝えます。



小笠原良子
(日本共産党)

小中学校の女子トイレに 生理用品の設置を

学校現場と社会状況を注視

問 小中学校の女子トイレの個室にいつでも使えるように生理用品を設置する考えは。

答 現在、小中学校では、困ったときに気兼ねなく相談できる場として、保健室での生理用品の配布等を行っています。トイレへの設置については、生理の貧困の解消にとどまらず、ジェンダー平等の推進などの意義も含め、公共施設等での設置が広がりつつあることを認識しています。児童生徒の心理的安心にもつながることから、今後は学校現場と社会状況を注視していきます。

問 加齢性難聴者への補聴器購入の助成について、助成開始時期の見込みは。

答 令和8年度から補聴器購入に要する経費の一部を補助する加齢性難聴者補聴器購入費助成事業を実施したいと考えており、現在は実施に向けた制度設計を進めているところです。実施に当たっては、市内の補聴器相談医等と連携し、補聴器が有効活用されるよう購入後の適切なフォローアップ体制を構築していきたいと考えています。

問 風力や太陽光発電といった再生可能エネルギーの大型開発から、八甲田山系の自然景観を守ることについて、市の考えは。

答 八甲田山をはじめとする豊かな自然環境や景観は、未来世代に引き継いでいかなければならぬ重要な財産であるという市の考えはこれまでと変わっていません。自然地域との共生が図られるよう、新たに施行された「青森県自然・地域と再生可能エネルギーとの共生条例」の合意形成プロセスにおいて、市民の声も伺いながら意見を申し述べていきたいと考えています。

一般質問



戸 来 伝
(株の会)

令和8年度予算編成に向けた 市長の覚悟は 財政改革を進めながら 公約の実現に取り組む

問 令和8年度予算編成に向けた市長の覚悟は。

答 基金に頼らない持続可能な財政運営を目指し、事業の選択と集中を推進しながら、公約の実現に向けても重点的に取り組んでいきます。

問 主な基金の今後の見通しは。

答 小中学校の長寿命化改修に伴う公共施設整備基金等の取崩しや、十和田地域広域事務組合のごみ焼却施設改築に伴う負担金増加等による財政調整基金等の取崩しが予定されていることから減少が見込まれています。

問 こまかいどーむが人気で使えないという声が聞こえてくるが、基金の取崩しをしてでも、おらんどーむに人工芝を敷設する考えは。

答 おらんどーむに限らず、今後子供たちがスポーツをしやすい環境の整備を進めます。

問 中央病院の黒字化の見込みは。

答 令和7年度の収支は、前年度に比べ約5億2,000万円改善する見込みですが、人件費や物価等の高騰もあり黒字化は難しい状況です。

問 赤字分を市から補填する考えは。

答 黒字化に向け、病床稼働率の上昇に取り組むなど、引き続き自助努力を重ねた上で判断しなければならないと考えています。

問 再生可能エネルギー事業については、反対と推進の声がそれぞれ市民よりあがっているが、市長はいつ意思表示するのか。

答 当市の豊かな自然環境と再生可能エネルギーとの共生が重要な判断基準となるため、まずは事業者に共生の考え方を示していただき、環境影響評価法や県の共生条例に基づく手続の中で意見を伝えています。

本会議・各委員会の議員出欠状況

令和7年第3回定例会終了後から令和7年第4回定例会まで ※「○」は出席、「×」は欠席、「-」は所属外

日付	会議名	総務文教常任委員会										観光建設常任委員会						民生福祉常任委員会					議長	出席人数(人)
		江渡信貴	笛削峰尚	山端美樹	竹島直樹	小笠原良子	久慈年和	工藤正廣	今泉信明	中嶋秀一	小山田剛士	中尾利香	山端重美	斎藤博	戸来洋子	山田正幸	太田量子	氣田堰野端	小川展雄	石橋洋平				
12月 3日(水)	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	
12月 1日(月)	観光建設常任委員会	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	×	-	-	-	-	-	-	6	
10月16日(木)	民生福祉常任委員会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	5		
12月 5日(金)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	5		
11月21日(金)		○	-	-	-	-	○	○	-	○	-	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	10		
11月27日(木)		○	-	-	-	-	○	○	-	○	-	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	10		
12月11日(木)	議会運営委員会	○	-	-	-	-	○	○	-	○	-	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	10		
12月15日(月)		○	-	-	-	-	○	○	-	○	-	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	10		
10月 3日(金)	議会改革特別委員会	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○	○	-	○	-	7		
11月18日(火)		○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○	○	-	○	-	7		
10月 1日(水)	病院経営改革特別委員会	-	○	○	×	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	7		
11月17日(月)		-	○	○	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	8		
11月27日(木)	第4回定例会(開会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20		
12月11日(木)	第4回定例会(一般質問①)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20		
12月12日(金)	第4回定例会(一般質問②)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20		
12月15日(月)	第4回定例会(一般質問③)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20		
12月17日(水)	第4回定例会(閉会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20		

令和7年度 市議会・市民との意見交換会

令和7年度の『市議会・市民との意見交換会』として、常任委員会ごとにテーマを設けて次のとおり開催しました。意見交換会で寄せられた意見の中で調査が必要と思われる事項については、今後、常任委員会での調査を進めます。

民生福祉常任委員会

開催日：令和7年10月16日（木）
テーマ：十和田市の障がい児支援について
対象者：障がい児支援の取組をしている事業所

主な意見・要望など

- ◆医療的ケア児の受入体制が整備されている。
- ◆支援事業者に対する公共施設の減免が少ない。
- ◆学校と事業所（施設）間の送迎支援がない。
- ◆事業所職員と教師などの関係者が一堂に会するワールドカフェを開催してほしい。



観光建設常任委員会

開催日：令和7年12月19日（金）
テーマ：十和田市の農業について
対象者：十和田おいらせ農業協同組合青年部

主な意見・要望など

- ◆十和田湖を水源とした豊富な農業用水がある。
- ◆後継者不足で、高齢化が進んでいる。
- ◆農産物のPRをもっとしてほしい。
- ◆農地の区画整備や集約化など農地の基盤整備をしてほしい。



総務文教常任委員会

開催日：令和7年12月23日（火）
テーマ：Towadaの未来について
対象者：青森県立三本木高等学校の生徒

主な意見・要望など

- ◆花火大会や秋まつり、流鏑馬など季節ごとのイベントがあり、地域の魅力につながっている。
- ◆商店街に活気を取り戻すため、空き店舗対策や人が集まる仕組みづくりが必要。
- ◆車がなくても生活しやすい交通環境の整備が、将来の定住促進につながると思う。



行政視察報告

各委員会の視察報告書は、掲載準備が整い次第、市ホームページでご覧いただくことができます。

議会改革特別委員会

・視察期間

令和7年10月28日(火)～30日(木)

・視察地及び視察事項

◆愛知県津島市

津島市の市長等、職員及び議員のハラスメント防止等に関する条例の制定について

◆静岡県袋井市

袋井市議会議員政治倫理条例の制定について



議会運営委員会

・視察期間

令和7年11月5日(水)～7日(金)

・視察地及び視察事項

◆兵庫県三田市

三田市議会ハラスメント根絶条例の制定について

◆滋賀県栗東市

栗東市議会議員政治倫理条例の制定について



請願・陳情

継続審査

○(仮称) 惣辺奥瀬風力発電事業に関する請願

令和8年第1回定例会の開催予定

2月24日(火) 本会議(開会)

3月 6日(金)
9日(月)
11日(水) } 一般質問

3月18日(水) 本会議(閉会)

予算審査特別委員会

3月13日(金)、16日(月)

※会議の開始はいずれも午前10時からです。

※各常任委員会の開催予定日は未定です。

※日程は変更になる場合があります。詳しくは
議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

今号の市議会だよりでは、令和7年第4回定例会の内容を中心にお伝えしました。

議会では、市民生活に直結する施策や将来を見据えた重要な議案について、一般質問をはじめ各委員会での調査、閉会日での採決など活発に議論が交わされています。

本年も、市民に開かれた議会を目指し、情報発信の充実に努めてまいります。議会だよりが、議会をより身近に感じていただく一助となれば幸いです。

(文責 太田正幸)

議会だより編集委員会

委員長 中尾利香 副委員長 竹島直樹
委員 山端美樹子 委員 太田正幸
// 笹渕峰尚 // 山端博
// 斎藤重美 // 江渡信貴

